

「水防災意識社会 再構築ビジョン」に基づく  
江の川（下流）流域の減災に係る取組について

令和4年度 第2回 協議会

江の川水系(下流)大規模氾濫時の減災対策協議会

江津市、川本町、美郷町、邑南町、島根県、  
松江地方气象台、国土交通省浜田河川国道事務所

## 江の川水系（下流）大規模氾濫時の減災対策協議会 規約

（協議会の実施事項）

第4条 協議会は、次の各号に掲げる事項を実施する。

一 洪水の浸水想定等の水害リスク情報並びに、各構成員がそれぞれ又は連携して実施している現状の減災に係る取組状況等の共有。

二 円滑かつ迅速な避難、的確な水防活動及び円滑かつ迅速な氾濫水の排除を実現するために、各構成員がそれぞれ又は連携して取り組む事項をまとめた「地域の取組方針」の作成・共有。

三 「地域の取組方針」に基づく対策の実施状況の確認。

四 その他、大規模氾濫に関する減災対策に関して必要な事項を実施。

(1) 令和4年度の実施状況

(2) その他

## (1) 令和4年度の実施状況

# 減災対策協議会の開催（令和4年度 第1回協議会）

江の川（下流）

平成28年度から取り組んでいる減災に係わる取組方針は当初目標としていた5年が経過したことから、令和3年5月に今後5か年の取組方針として改定しました。

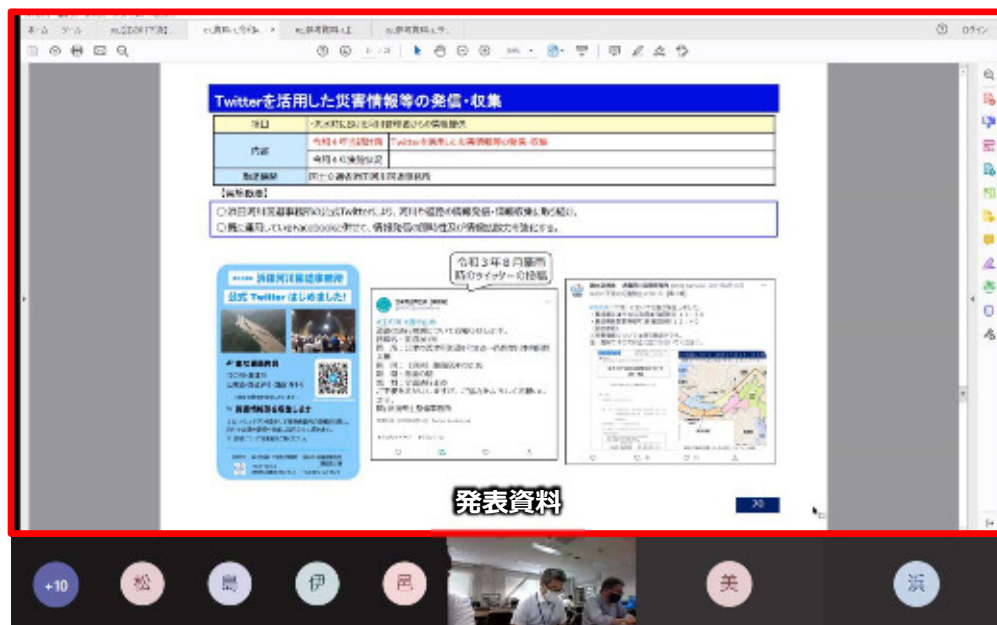
本協議会では、各関係機関が令和4年度に取り組む対策について共有しました。また、浜田河川国道事務所は、防災教育や防災講習会などの取組に重点をおき、取組を実施・支援していきます。

なお、会議は、県央圏域県管理河川に関する減災対策協議会、浜田圏域県管理河川に関する減災対策担当者会と合同開催とし、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からweb会議方式で実施しました。

【開催日】 令和4年6月13日（月）

【場所】 Web会議（Microsoft Teams）

【参加機関】 江津市、川本町、美郷町、邑南町、島根県（防災部、土木部）、松江地方気象台、浜田河川国道事務所



Web会議による江の川水系（下流）大規模氾濫時の減災対策協議会の様子

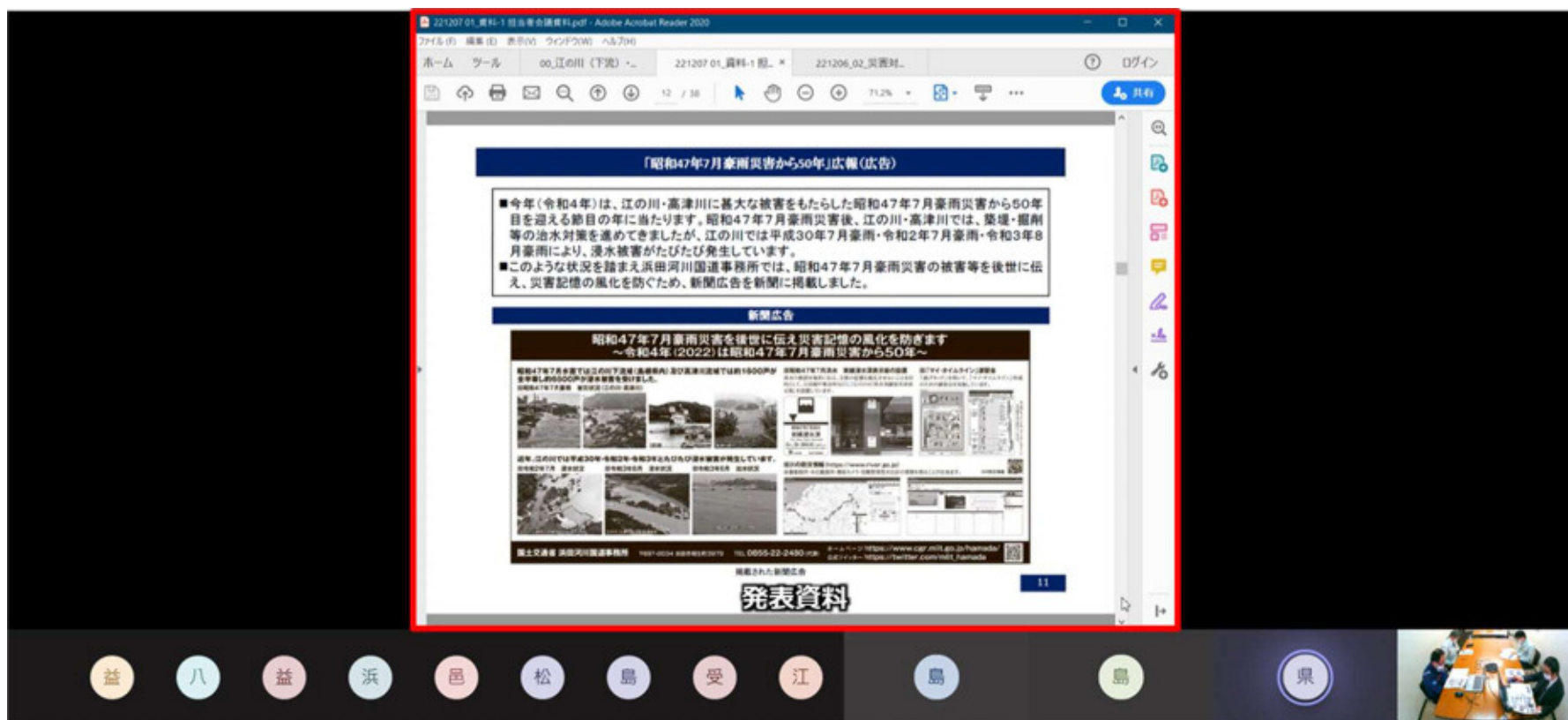
令和4年度は、7月の前線性降雨により江の川（下流）及び高津川において、氾濫注意水位を超過し、9月の台風第14号では、高津川の高角水位観測所において氾濫危険水位に到達しました。

このことから、今年度の振り返りとして出水概要や今年度の各機関の防災・減災に関する取組を共有するために担当者会議を開催しました。

【開催日】 令和4年12月7日（金）

【場所】 Web会議（Microsoft Teams）

【参加機関】 江津市、川本町、美郷町、邑南町、益田市、島根県（防災部、土木部）、浜田県土整備事務所、県央県土整備事務所、益田県土整備事務所、松江地方気象台、浜田河川国道事務所



Web会議による江の川水系（下流）・高津川水系大規模氾濫時の減災対策協議会幹事会担当者会議の様子

# 令和4年度の実施状況

- 令和4年度第1回減災対策協議会において、令和4年度の各機関の実施予定を整理しており、本資料では、各機関の主な実施状況について報告しています。
- 各機関の具体的な取組状況については、p-9以降に示します。

## ①住民自らが危機を認識した的確な避難行動を行うための取組

主な取組項目	取組機関	令和4年度の実施状況
<b>■ 避難行動、水防活動に資する基盤等の整備</b>		
・洪水に対しリスクの高い箇所を監視する簡易水位計等の整備	国交省	・【国交省】江の川（下流）にCCTV7基、簡易カメラ1基、危機管理型水位計8基を新たに整備
・避難行動等に資する情報提供設備の整備及び水位予測の精度向上	国交省・ 松江地方気象台	・【国交省】指定河川洪水予報（国河川）の氾濫危険情報を予測でも発表 ・【気象台】①線状降水帯による大雨の可能性を半日程度前から呼びかけ、②キキクル（危険度分布）の改善（「黒」の新設、「うす紫」と「濃い紫」を統合し、警戒レベルに整合）、③大雨特別警報（浸水害）の指標を改善、④指定河川洪水予報（国河川）の氾濫危険情報を予測でも発表、⑤高潮の早期注意情報（警報級の可能性）を毎日発表
<b>■ 想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図に基づくハザードマップの作成・周知等</b>		
・想定最大規模降雨に対応したハザードマップに基づく避難計画の見直し(避難場所及び避難経路の検討、広域避難の必要性検討、隣接市町との洪水時の連絡体制の検討)	流域市町	・【江津市】旧桜江町における地区避難計画作成に向けて検討を行った。
・洪水浸水想定区域内の要配慮者（社会福祉施設等）利用施設の管理者が策定する避難確保計画作成・訓練実施の支援や定住外国人、観光客等を対象とした避難情報の提供	流域市町	・【江津市】計画に基づく訓練等の支援を行った。
・夜間、荒天時における避難指示等の発令基準の作成・避難誘導體制の検討	流域市町	・【美郷町】気象台からの発表データを参照しつつ避難指示灯の発令基準を検討中 ・【邑南町】自主防災組織と協議を実施
・江の川（下流）の水害リスクを踏まえ、商工会議所等と連携した企業向け水害（防災）教育及び大規模氾濫を想定した自衛水防の講習会や訓練の実施	協議会全体	・【邑南町】BCPの作成等協議を実施 ・【国交省】水害BCPを作成する企業を募るチラシを作成し、美郷町及び邑南町の商工会議所に150部ずつ配布
・想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図に基づくハザードマップを作成し、洪水浸水想定区域内の各戸・事業所への配付やまるとまちごとハザードマップによる災害リスクの現地表示の実施	流域市町	・【江津市】海拔表示板や避難所看板の維持を行った。 ・【美郷町】デジタルハザードマップで浸水想定区域を変更中 ・【邑南町】ハザードマップを作成し、全戸に配布
<b>■ 多様な防災活動を含むタイムラインの作成</b>		
・河川管理者、沿川自治体、住民、交通サービス、道路管理者等と連携したタイムラインの運用及び見直し	協議会全体	・【国交省】水害タイムラインの立ち上げ（江の川：3回）、出水期前にタイムラインの運用方法の確認、出水期後に振り返りのため検討会を実施

# 令和4年度の実施状況

- 令和4年度第1回減災対策協議会において、令和4年度の各機関の実施予定を整理しており、本資料では、各機関の主な実施状況について報告しています。
- 各機関の具体的な取組状況については、p-9以降に示します。

## ①住民自らが危機を認識した的確な避難行動を行うための取組

主な取組項目	取組機関	令和4年度の実施状況
<b>■ 情報伝達、避難計画等に関する事項</b>		
・洪水時における河川管理者からの情報提供等（ホットラインの構築）	協議会全体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【島根県】八戸ダム及び県管理河川における情報提供を実施</li> <li>・【国交省】江の川（下流）・高津川の流域自治体と台風接近3日前に情報共有のためWeb会議を実施（今後、松江地方気象台・島根県と協議予定）</li> </ul>
・ダム放流情報を活用した避難体系の確立	流域市町・国交省	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【国交省】江の川水系ダム洪水調節協議会における連絡体制の確認</li> </ul>
<b>■ 防災教育や防災知識の普及</b>		
・「川の防災情報」や地上デジタル放送のデータ放送、水害リスクラインの活用促進のための周知や二次元コード、SNSの有効活用	協議会全体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【島根県】水防情報システムや防災メールにより河川情報を発信</li> <li>・【国交省】江の川だよりにて、河川水位や河川カメラ情報の入手先として川の防災情報を周知、Twitterを活用した防災情報の発信</li> <li>・【気象台】①島根県内市町村防災担当者向けに、「気象防災ワークショップ（土砂災害編・洪水編）」を開催、②島根県内市町村防災担当者向けに、「あなたの町の予報官TV」と題した情報提供コンテンツを、毎週金曜日夕刻に「youtube」にて配信。</li> </ul>
・小中学校などと連携した江の川（下流）水系の洪水の特徴を踏まえた水害（防災）教育の普及・充実	協議会全体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【江津市】出前講座、備蓄倉庫の確認、避難所の運営体験を実施</li> <li>・【川本町】出前講座を実施</li> <li>・【美郷町】ハザードマップの見方等について小学校教諭に助言（授業に関わる）</li> <li>・【邑南町】高原小学校区の児童に対して出前講座を実施</li> <li>・【国交省】6/23 郷田小学校で出前講座を実施</li> </ul>
・住民の水防災意識の向上に資するイメージ動画等のツールを活用した、より実践的な防災教育の実施、ダムや堤防施設の機能等に関する定期的な住民への説明会や情報提供、避難訓練への参加促進を実施	協議会全体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【美郷町】自主防災組織が主体となった訓練を協働実施、防災学習会の開催</li> <li>・【島根県】新聞広報（考える県政）による情報発信、桜江中学校と連携し、防災（治水）学習を実施（6/10、7/5、7/21計3回）（八戸川、八戸ダム）</li> <li>・【国交省】江の川だより第10号～第14号</li> <li>・【気象台】①邑智郡消防協会研修会において、防災知識の普及・啓発を行った。②「島根県総合防災訓練」において、広く一般住民に向け防災に関する展示・解説を実施し、防災知識の普及・啓発を行った。</li> </ul>
・住民一人一人の避難計画・情報マップ（マイ・タイムライン）の作成促進	流域市町・島根県・国交省	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【美郷町】各自主防災組織の役員及び防災士等を対象に実施</li> <li>・【邑南町】自主防災組織、防災士に対してマイ・タイムライン作成研修を実施</li> <li>・【国交省】「昭和47年7月豪雨災害から50年」に関する新聞広告・展示パネル・記録資料の作成 流域自治体で「昭和47年7月豪雨災害から50年」に関するパネル展を実施</li> </ul>



# 令和4年度の実施状況

- 令和4年度第1回減災対策協議会において、令和4年度の各機関の実施予定を整理しており、本資料では、各機関の主な実施状況について報告しています。
- 各機関の具体的な取組状況については、p-9以降に示します。

## ② 氾濫特性を踏まえた効果的な水防活動

主な取組項目	取組機関	令和4年度の実施状況
<b>■ 水防活動の効率化及び水防体制の強化</b>		
・消防団員と兼務する水防団員への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施及び人員の確保	流域市町	・【美郷町】内水排除を対象とした講習会を開催
・江の川（下流）の重要水防箇所等洪水に対しリスクが高い区間について消防団員と兼務する水防団員や地域住民が参加する合同点検を実施	流域市町・国交省	・【国交省】美郷町職員と重要水防箇所2箇所を確認
・水防活動の知識習得と技術力向上のため、総合防災訓練等と合わせて、水防専門家を講師とした講習会を実施	協議会全体	・【江津市】水防団員に排水ポンプ等の実技指導を行った。 ・【国交省】国交省職員・防災エキスパート・コンサルタントと共同で、梅雨時期前に堤防点検を実施
・備蓄水防資機材情報の共有及び非常時における相互支援方法の確認	流域市町・島根県・国交省	・【国交省】江の川谷地区（川本町）において、国交省・島根県・川本町・維持工事受注者の合同で仮締切堤防の設置訓練を実施
・市町庁舎の洪水時における対応について業務継続計画を策定及び機能確保のための対策の充実	江津市・川本町・邑南町	・【美郷町】業務継続計画の改定を検討
・樋門操作に関する人員の確保と操作訓練の実施	流域市町・島根県・国交省	・【江津市】樋門操作員研修会を実施 ・【川本町】樋門等操作員研修会を実施 ・【美郷町】説明会は開催、操作訓練については、消防団により実施 ・【邑南町】操作担当職員、消防団により樋門操作に関する人員確保と操作訓練を実施 ・【国交省】本町救急内水排水機場の操作説明会を実施。下ノ原排水樋門において、樋門操作員のための簡易小屋を設置。

## ③ 浸水を一日も早く解消するための排水対策

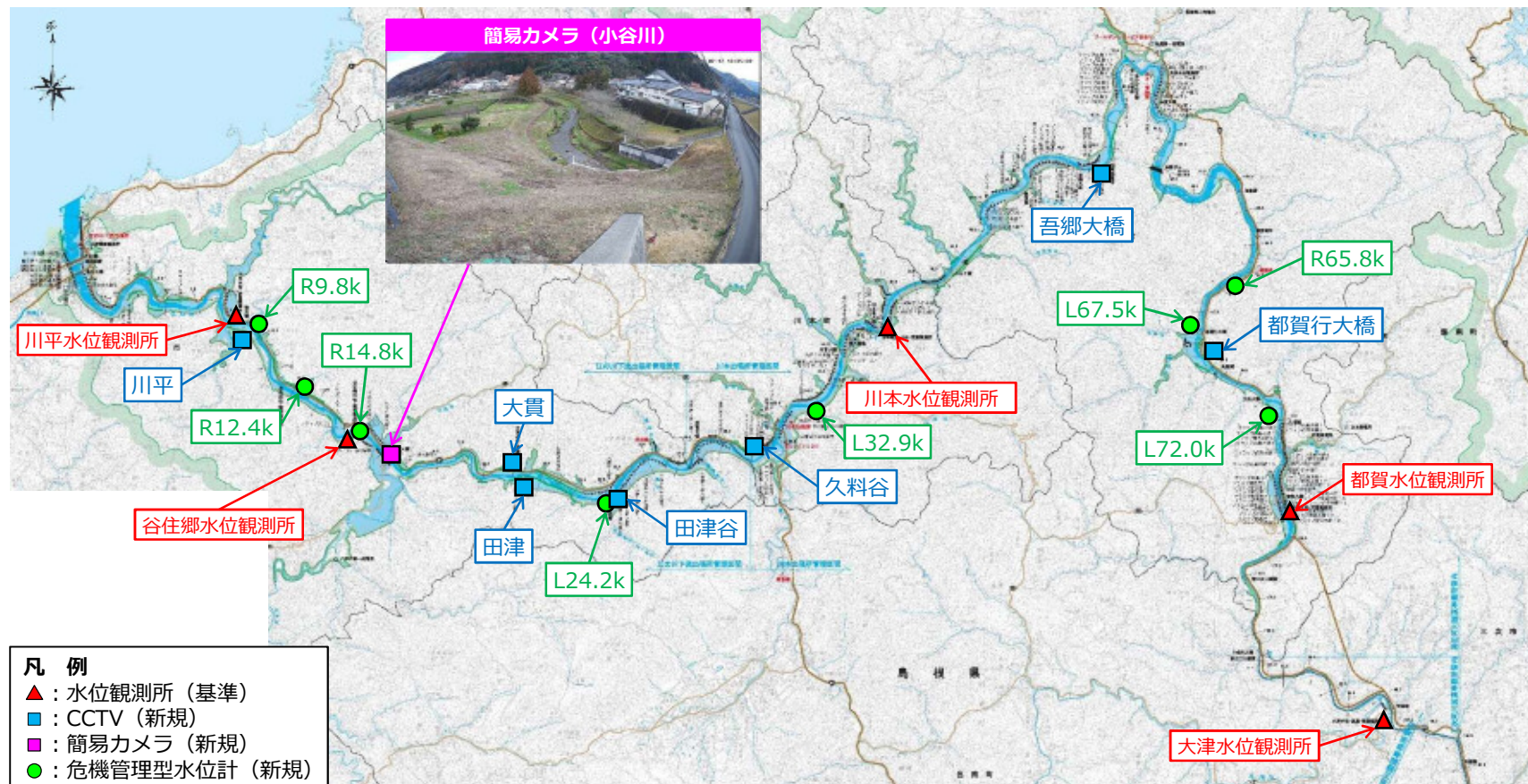
主な取組項目	取組機関	令和4年度の実施状況
<b>■ 排水作業準備計画（案）の作成及び排水訓練の実施</b>		
・排水作業準備計画に基づく排水訓練の実施	流域市町・国交省	・【美郷町】内水排除訓練を実施 ・【邑南町】新たに町で導入した排水ポンプの訓練を実施 ・【国交省】国交省職員と災害対応を行う維持工事受注者が合同で、排水ポンプ車と照明車の操作訓練を実施
・排水設備の耐水性の強化	流域市町・島根県・国交省	・【美郷町】対処法についての検討を実施 ・【邑南町】排水設備の点検と修繕を実施

国土交通省  
浜田河川国道事務所

項目	洪水に対しリスクの高い箇所を監視する簡易水位計等の整備	
内容	令和4年当初計画	CCTV・簡易カメラ・危機管理型水位計の整備
	令和4年実施状況	CCTV7箇所、簡易カメラ1箇所、危機管理型水位計8箇所を新たに設置
取組機関	国土交通省浜田河川国道事務所	

## 【実施概要】

- 江の川（下流）の出水時に孤立する可能性がある地区において、CCTV7箇所、危機管理型水位計8箇所を新たに整備。
- 内水被害が頻発している小谷川排水樋門の背後地に簡易カメラを整備。



CCTV、簡易カメラ、危機管理型水位計の設置平面図

項目	江の川（下流）の水害リスクを踏まえ、商工会議所等と連携した企業向け水害（防災）教育及び大規模氾濫を想定した自衛水防の講習会や訓練の実施	
内容	令和4年当初計画	企業の水害BCP作成を支援するセミナーを開催
	令和4年実施状況	水害BCPを作成する企業を募るためチラシを作成し、美郷町及び邑南町の商工会議所へ配布
取組機関	国土交通省浜田河川国道事務所	

### 【実施概要】

- 水害時の事業の機能不全を防止、軽減あるいは早期復旧が可能とすることを目標として、事業継続計画（BCP）の検討支援を行うため、セミナー募集のチラシを作成し、美郷町及び邑南町の商工会（各150部程度）へ配布しました。
- 事業継続計画作成を希望する企業を対象に、来年度以降もセミナー等を通して事業継続計画の検討支援を実施します。

### 今年度の取組

**水害に負けず企業を存続させる BCP対策のススメ**

江の川氾濫及び支川では、平成30年7月豪雨・令和2年7月豪雨・令和3年8月豪雨と連続して氾濫が発生しています。もし、この時より多くの雨が降り続き、江の川が氾濫した場合皆さまの会社や店舗はすぐに再開できますか？ BCP(事業継続計画)は、会社や地域のダメージを予測し、事前の行動計画を立て実施しておくことで、水害による被害軽減と素早い復旧を実現するための計画です。

**1 BCPの目的**  
事業継続計画 (Business Continuity Plan) を作成し、事業の継続性を確保し、被害を最小限に抑え、迅速な復旧を図ります。

**2 BCPの検討の流れ**  
STEP 1: ハザードを知る (地域特性評価)  
STEP 2: 被害程度を知る (被害想定・発生予測)  
STEP 3: 水害に備える (課題の整理・対策案の検討)  
STEP 4: 水害に対応する (BCPの策定)

**3 課題の整理ポイント**

**4 国土交通者による支援**  
水害の専門家が地域の水害危険性と対応策についてアドバイスします。

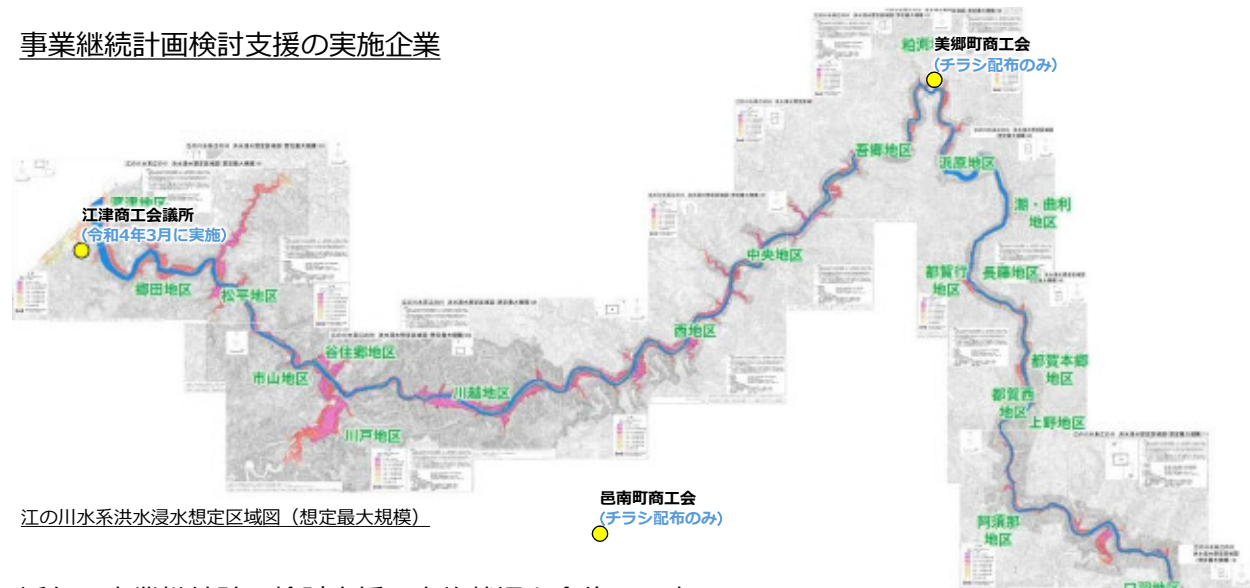
国土交通省浜田河川国道事務所では 随時セミナーを受け付けております！

■連絡先 国土交通省 中国地方整備局 浜田河川国道事務所 河川管理課  
Tel:0855-22-3122(直通)

作成した水害BCP作成セミナーの募集チラシ

### 来年度の取組予定

#### 事業継続計画検討支援の実施企業



#### 近年の事業継続計画検討支援の実施状況と今後の予定

R3	R4	R5～R7 (予定)
・江津商工会議所 (R4.3.25)	・美郷町商工会 (チラシ配布のみ) ・邑南町商工会 (チラシ配布のみ)	・事業継続計画作成を希望する企業を対象に実施

項目	洪水時における河川管理者からの情報提供等（ホットラインの構築）	
内容	令和4年当初計画	Twitterを活用した災害情報等の発信・収集
	令和4年実施状況	Twitterを活用し、河川や道路の情報発信・情報収集を実施
取組機関	国土交通省浜田河川国道事務所	

### 【実施概要】

○ 浜田河川国道事務所の公式Twitterを運用し、事務所が管轄する河川や道路の情報発信・情報収集を行いました。

国土交通省 **浜田河川国道事務所**

**公式 Twitter はじめました!**



**主な更新内容**  
江の川・高津川  
山陰道・国道9号・国道191号

に関する情報を発信しています!

**災害情報等を収集します**  
#(ハッシュタグ)検索をして事務所管内の情報を収集し、河川や道路の管理や事業に活用させていただきます。  
※ 詳細については裏面をご覧ください。

お問合せ 国土交通省 中国地方整備局 浜田河川国道事務所  
調査設計課  
〒697-0034 鳥取県浜田市相生町3973 TEL0855-22-3129

### 災害対策車の操作訓練のツイッターの投稿

国土交通省 浜田河川国道事務所 @mlit\_hamada · 2022年6月14日

【#災害対策車の操作訓練を実施しました!】

6月9日(木)、江津市源津町と桜江町の#江の川で、国交省職員と災害対応を行う委託企業による、排水ポンプ車と照明車の操作訓練を実施しました。

梅雨入りを前にしっかり準備を進めています。

#鳥根県 #江津市 #水害 #災害 #防災 #減災



### 水防災事業完成式（田の原地区）のツイッターの投稿


国土交通省 浜田河川国道事務所 @mlit\_hamada · 2022年9月20日

【#水防災事業完成式を開催します（#江の川）】  
～江津市川平町 田の原地区の水防災事業が完成しました～

○日時：令和4年9月25日(日)10:00～10:30  
○場所：江津市川平町南川上  
○内容：記念旗除幕式、浸水実績水位表示板の設置

詳細はこちら - [cgr.mlit.go.jp/hamada/news/fl...](http://cgr.mlit.go.jp/hamada/news/fl...)

#鳥根県 #江津市 #河川



項目	小中学校などと連携した江の川（下流）水系の洪水の特徴を踏まえた水害（防災）教育の普及・充実	
内容	令和4年当初計画	江の川（下流）流域の小学校を対象に、義務教育内に1度は防災教育を実施
	令和4年実施状況	6/23に郷田小4年生（11名）を対象に出前講座を実施
取組機関	国土交通省浜田河川国道事務所	

### 【実施概要】

- 令和4年6月23日（木）に江津市立郷田小学校4年生の児童（11名）の皆さんに、防災に関する出前講座を行いました。出前講座では、「江の川の概要」「過去の洪水（昭和47年7月豪雨）」「流域治水」などについて説明しました。
- 洪水浸水想定区域周辺の小学校を対象に、来年度以降も小学校防災教育を順次実施します。

### 今年度の取組



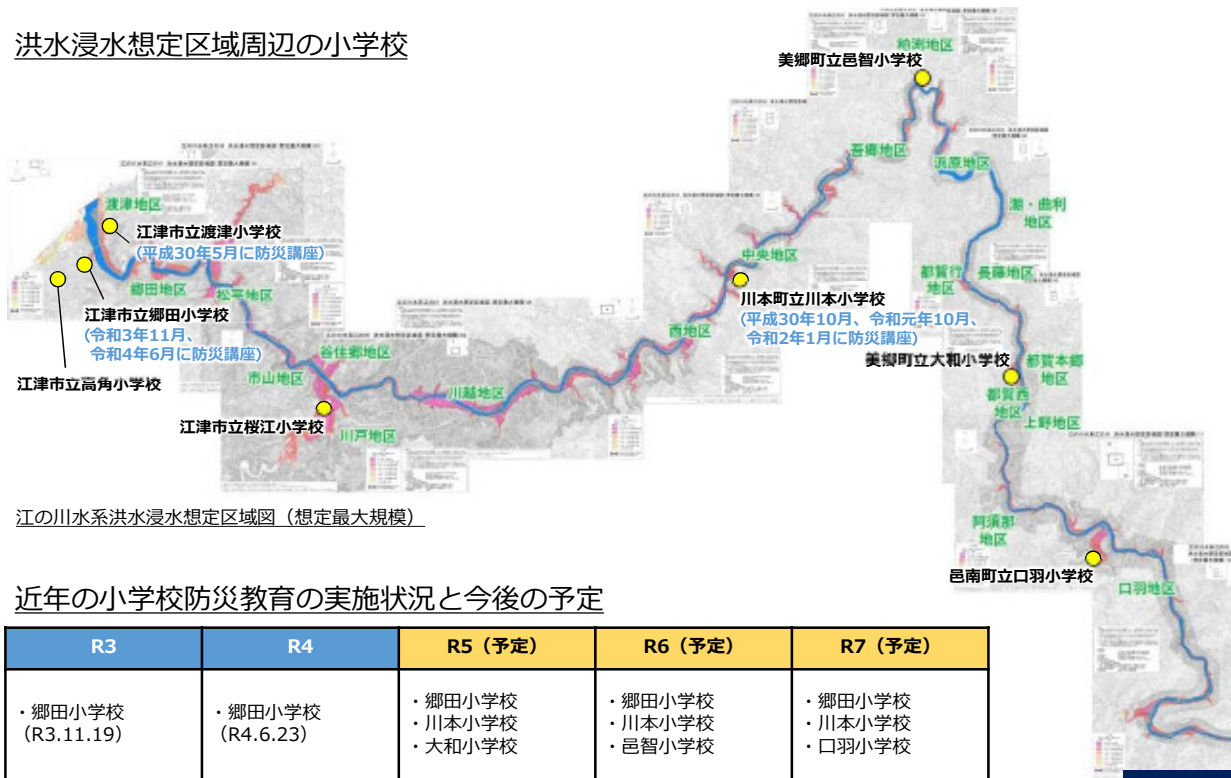
出前講座（座学）教室で4年生を対象に実施

### 児童の皆さんの意見

- ・ 早く避難することが大切だとわかった。早く避難することは、命を守ることになる。
- ・ 堤防が土だけでできていて、モグラなどの動物に穴をあけられてしまうと弱くなってしまふことがわかった。もしも、穴があいていることに気づいたら大人の人に知らせたい。

### 来年度の取組予定

#### 洪水浸水想定区域周辺の小学校



江の川水系洪水浸水想定区域図（想定最大規模）

#### 近年の小学校防災教育の実施状況と今後の予定

R3	R4	R5 (予定)	R6 (予定)	R7 (予定)
・ 郷田小学校 (R3.11.19)	・ 郷田小学校 (R4.6.23)	・ 郷田小学校 ・ 川本小学校 ・ 大和小学校	・ 郷田小学校 ・ 川本小学校 ・ 邑智小学校	・ 郷田小学校 ・ 川本小学校 ・ 口羽小学校

項目	ダムや堤防施設の機能等に関する定期的な住民への説明会や情報提供	
内容	令和4年当初計画	「江の川だより」による広報
	令和4年実施状況	江の川だより（第10号～第14号）の配布
取組機関	国土交通省浜田河川国道事務所	

### 【実施概要】

○江の川での改修事業を、地域の皆さんに理解してもらうために「江の川だより」を発刊しました。令和4年度は、江の川だより第10号～第14号を浜田河川国道事務所HP上で公開しました。

### 江の川だより 2022.6.13 第11号

～みんなで取り組む江の川の流域治水～

#### 近年（H30,R2,R3）の出水ふりかえり

川平水位観測所の最高水位

浜原ダム最大通過流量

近年、江の川においては4年で3度の浸水被害が発生しており、平成30年7月豪雨では観測史上2位（川平観測所）を記録しています。また、平成30年7月と令和2年7月の洪水では江の川中下流域の4・7地区で浸水被害が発生し、そのうち1・5地区で家屋浸水被害が発生しました。さらに令和3年8月の洪水では3・4地区で浸水被害が発生し、5地区で家屋浸水被害（内水を除く）が発生するなど大きな被害をもたらしました。

#### 川の水位やカメラ映像の入手は？（川の防災情報）

国土交通省では身近な「雨の状況」、「川の水位と危険性」、「川の子警報」などをリアルタイムでお知らせする「川の防災情報」を開発しています。大雨時の情報収集にご活用下さい。

二次元コードから川の防災情報に入り、川の水位情報を選択し、自宅周辺のマークをタップすることで、河川の水位やカメラ映像を見ることが出来ます。

#### 線状降水帯の予測による呼びかけについて

令和4年6月1日から気象庁が線状降水帯による大雨の予測を半日程度前に行う「線状降水帯予測」が始まりました。線状降水帯は同じ場所を通過または停滞し、強い雨を特定地域にもたらすため、自治体が発令する避難情報や大雨警報等の防災気象情報と合わせて、避難の判断にご活用ください。

江の川だより（第11号）

### 江の川だより 2022.8.12 第12号

～みんなで取り組む江の川の流域治水～

#### 今年で昭和47年7月豪雨から50年

昭和47年7月豪雨を後世に伝え記憶の風化を防ぎます

昭和47年7月豪雨では江の川流域において、約400戸が全半壊し約1400戸が浸水被害を受けました。防災教育を通じて、洪水の教訓を伝え、記憶を風化させないように努めます。

#### 防災出前講座を行いました（江津市立郷田小学校）

令和4年6月23日（木）江津市立郷田小学校4年生の児童（11名）の皆さんに、防災に関する出前講座を行いました。出前講座では、「江の川の概要」「過去の洪水（昭和47年7月豪雨）」「流域治水」などについて説明しました。また、大雨の時には急しななければならないことなどについて、クイズをしながら勉強しました。

#### 児童の皆さんの意見

- 早く避難することが大切だと思った。早く避難することは、命を守ることになる。
- 避難所はどのくらいまで行けば、そこで避難しようと思うことが大切だと思った。もし、避難所に行かない場合は、みんなに知らせたい。

#### 河川カメラを追加で設置します

現在、江の川ではカメラが9カ所設置されています。今年度は浸水被害の多い所に新たにCCTVカメラを7カ所設置する予定です。9月～10月は台風が多い時期です。雨が降り始めたら川の防災情報を活用して行動しましょう。

川の防災情報は、こちらから

目の様子を確認できます

江の川だより（第12号）

### 江の川だより 2022.10.14 第13号

～みんなで取り組む江の川の流域治水～

#### 川平町田の原地区土地利用一体型水防災事業の完成式を行いました。

平成13年度より進めていた川平町田の原地区土地利用一体型水防災事業が完了し、9月25日（日）に完成式を行いました。江津市との共催で行った完成式には、地元農出産物協議会をはじめ、地域の代表者等約50名の方をお招きしました。完成式のセレモニーとして、竣工記念碑の除幕式や地元住民参加による浸水実験水位表示板の設置等を行いました。

#### 〇土地利用一体型水防災事業とは

通常の高規格方式で加工した場合、堤防と背後の急な山に開かれた窪地に家屋が残るため、体積が膨らみ、農産物も傷むなど問題が発生します。そこで土地利用一体型高規格方式では、この問題を改善するため、宅地をかま上げし、洪水の安全度を確保するとともに、山腹部の傾いた土地の有効活用を図ります。

#### 港地区起工イベントを実施しました。

島智郡美郷町港地区（江の川支流川野谷川沿川）の港集会所前にて、「防災無任所起工促進事業」（主催者：美郷町）の起工イベントが9月9日（金）に開催されました。移転起工事業をはじめ22名の方に参加していただきました。

ドローンによる記念写真

起工イベントの様子

起工記念碑

令和4年7月洪水実験治水

江の川だより（第13号）

項目	住民一人一人の避難計画・情報マップ（マイ・タイムライン）の作成促進	
内容	令和4年当初計画	逃げキッド【昭和47年から7月豪雨から50年版】を作成、新聞広告
	令和4年実施状況	昭和47年7月豪雨災害に関する新聞広告を新聞に掲載
取組機関	国土交通省浜田河川国道事務所	

## 【実施概要】

- 今年、江の川（下流）・高津川に甚大な被害をもたらした昭和47年7月豪雨災害から50年を迎える節目の年にあたります。
- 昭和47年7月豪雨災害後、江の川（下流）・高津川では、築堤・掘削等の治水対策を進めてきましたが、江の川（下流）では平成30年7月豪雨・令和2年7月豪雨・令和3年8月豪雨により、浸水被害がたびたび発生しています。
- このような状況を踏まえ浜田河川国道事務所では、昭和47年7月豪雨災害の被害等を後世に伝え災害記憶の風化を防ぐため、新聞広告を新聞に掲載しました。

### 昭和47年7月豪雨災害を後世に伝え災害記憶の風化を防ぎます ～令和4年（2022）は昭和47年7月豪雨災害から50年～

**昭和47年7月水害では江の川下流域（島根県内）及び高津川流域では約1600戸が全半壊し約6600戸が浸水被害を受けました。**

■昭和47年7月豪雨 被災状況（江の川・高津川）

■昭和47年7月洪水 実績浸水深表示板の設置  
洪水の教訓を後世に伝え、災害の記憶を風化させないことを目的として、公民館や集会所などに「江の川47洪水実績浸水深表示板」を設置しています。

■「マイ・タイムライン」講習会  
「逃げキッド」を用いて、「マイ・タイムライン」作成のための講習会を実施しています。

**近年、江の川では平成30年・令和2年・令和3年とたびたび浸水被害が発生しています。**

■令和2年7月 浸水状況    ■令和3年8月 浸水状況    ■令和3年8月 出水状況

■川の防災情報 (<https://www.river.go.jp>)  
雨量観測所・水位観測所・簡易カメラ・危機管理型水位計の情報を得ることができます。

川の防災情報

国土交通省 浜田河川国道事務所 〒697-0034 浜田市相生町3979 TEL 0855-22-2480（代表）

ホームページ <https://www.cgr.mlit.go.jp/hamada/>  
公式ツイッター [https://twitter.com/mlit\\_hamada](https://twitter.com/mlit_hamada)

掲載された新聞記事



# 「昭和47年7月豪雨災害から50年」 広報（パネル展） 浜田河川国道事務所

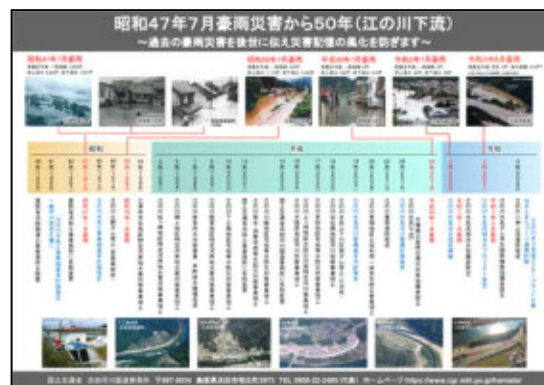
項目	住民一人一人の避難計画・情報マップ（マイ・タイムライン）の作成促進	
内容	令和4年当初計画	逃げキッド【昭和47年から7月豪雨から50年版】を作成、新聞広告
	令和4年実施状況	昭和47年7月豪雨災害に関するパネル展を江の川（下流）流域自治体で開催
取組機関	国土交通省浜田河川国道事務所	

## 【実施概要】

○ 浜田河川国道事務所では、昭和47年7月豪雨災害の被害等を後世に伝え災害記憶の風化を防ぐため、パネル展を流域自治体で開催しました。



昭和47年7月豪雨による被害（江の川）



江の川（下流）治水年表



悠々ふれあい会館（川本町）



昭和47年7月洪水実績浸水深表示板



マイ・タイムライン講習会の様子



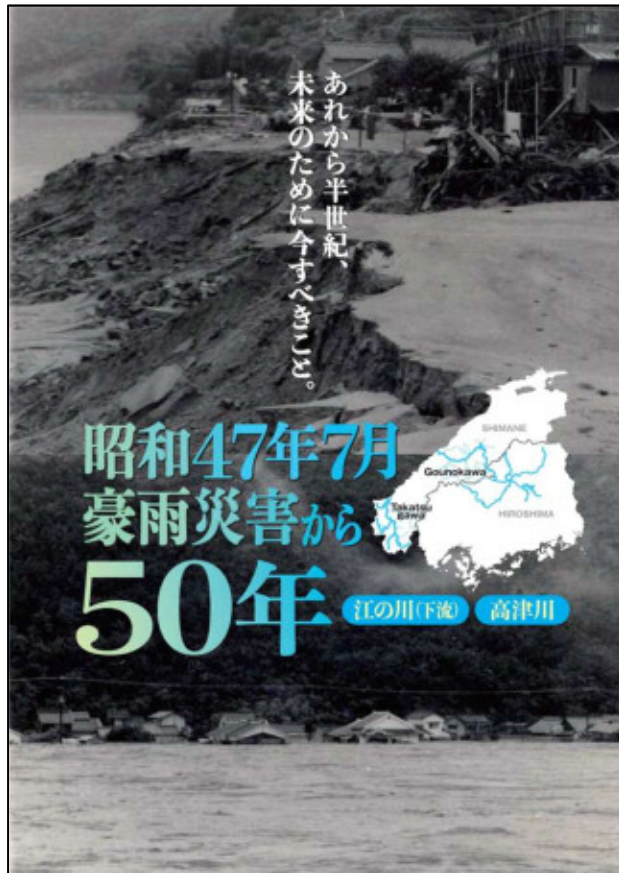
美郷町役場

# 「昭和47年7月豪雨災害から50年」 広報（記録資料） 浜田河川国道事務所

項目	住民一人一人の避難計画・情報マップ（マイ・タイムライン）の作成促進	
内容	令和4年当初計画	逃げキッド【昭和47年から7月豪雨から50年版】を作成、新聞広告
	令和4年実施状況	昭和47年7月豪雨災害に関する記録資料を作成・配布
取組機関	国土交通省浜田河川国道事務所	

## 【実施概要】

○ 浜田河川国道事務所では、昭和47年7月豪雨災害の被害等を後世に伝え災害記憶の風化を防ぐため、記録資料を作成しました。



### 昭和47年7月豪雨

#### 概要



江津市江津町 江の川下流より浸水した住宅の様子

7月9日から中四地方に梅雨前線が停滞したため、朝から断続的に雨が降り、夜にかけて鳥取県西部を中心に雨が強く降りました。10日14時頃には、松江気象台から大雨洪水警報が発令され、11日3～4時に市水雨量観測所(浜田市)では時間雨量50mmを記録しました。浜田ダムでは12日6時に最大放流量9,264m<sup>3</sup>/sを記録し、これに加えて各支流が流入したことで、12日11時には川平水位観測所(江津市)において15.28mの軒高水位を上回る16.00mの最高水位を記録し、江の川沿岸では住宅の2層まで浸水しました。昭和47年7月豪雨による被害は、堤防整備の遅れなどから川本町や江津市(旧江津町)で顕著であり、この豪雨を起因とする洪水被害は江の川水系において史上最悪と言われています。

#### 気象概況




5 松州前線の位置(各日同時)      6 昭和47年7月豪雨による江の川流域の被害箇所分布図

#### 被災状況

人的被害		家屋被害			洪水被害	
死者(人)	行方不明者(人)	全壊(戸)	半壊(戸)	床上浸水(戸)	床上浸水(戸)	浸水戸数(戸)
3	14	308	840	1,294	1,088	3,428










7 江津市美津町      8 邑智(旧邑智町)

昭和47年7月豪雨の概要（江の川）

項目	樋門操作に関する人員の確保と操作訓練の実施	
内容	令和4年当初計画	—
	令和4年実施状況	5/18本町救急内水排水機場で操作説明会を実施。下ノ原排水樋門 樋門操作員のための簡易小屋を設置。
取組機関	国土交通省浜田河川国道事務所	

### 【実施概要】

- 江の川（下流）で洪水が発生した際に、迅速に対応できるよう梅雨前の5/18に江津市の本町救急内水排水機場で排水設備の操作説明会を実施しました。
- 下ノ原排水樋門 樋門操作員のための簡易小屋を設置。













本町救急内水排水機場 操作説明会



下ノ原排水樋門 簡易小屋

- 自然災害伝承碑とは、過去に発生した津波、洪水、火山災害、土砂災害等の自然災害に係る事柄（災害の様相や被害の状況など）が記載されている石碑やモニュメントです。
- 過去の自然災害に関する石碑やモニュメントなどを地形図等に掲載することにより、過去の自然災害の教訓を地域の方々に適切にお伝えするとともに、教訓を踏まえた的確な防災行動による被害の軽減を目指すもので浜田河川国道事務所管内の自然災害伝承碑を整理しました。
- 具体的な場所は、下記のURLから確認可能です。

[https://maps.gsi.go.jp/#7/35.366656/138.735352/&base=pale&ls=pale|disaster\\_lore\\_all&disp=11&lcd=disaster\\_lore\\_all&vs=c1j0h0k0l0u0t0z0r0s0m0f0&d=m](https://maps.gsi.go.jp/#7/35.366656/138.735352/&base=pale&ls=pale|disaster_lore_all&disp=11&lcd=disaster_lore_all&vs=c1j0h0k0l0u0t0z0r0s0m0f0&d=m)

<p><b>防災祈念碑</b> 災害名：昭和58年7月豪雨 (1983年7月23日)</p> 	<p><b>復旧記念碑</b> 災害名：昭和58年7月豪雨 (1983年7月23日)</p> 	<p><b>五十八年山陰豪雨災害 追悼之碑</b> 災害名：昭和58年7月豪雨 (1983年7月23日)</p> 	<p><b>静流の鐘塔</b> 災害名：昭和58年7月豪雨 (1983年7月23日)</p> 	<p><b>上江川橋</b> 災害名：洪水 (1905年、1920年、 1943年、1951年)</p> 	<p><b>不可遺忘之紀 (いぼうすべからずのき)</b> 災害名：洪水 (1850年7月9、13日)</p> 
<p><b>昭和18年大水害死者菩提塔</b> 災害名：昭和18年台風26号 (1943年9月19日)</p> 	 <p>浜田河川国道事務所管内の 自然災害伝承碑マップ ※赤枠：令和4年度追加</p>				<p><b>漸に杜ぎ、蒨に防ぐ（ぜんに ふさぎ、ぼうにふせぐ）</b> 災害名：昭和58年7月豪雨 (1983年7月23日)</p> 
<p><b>昭和58年豪雨災害 復旧記念碑</b> 災害名：昭和58年7月豪雨 (1983年7月23日)</p> 	<p><b>大洪水碑</b> 災害名：昭和47年7月豪雨 (1972年7月12日)</p> 				

- 大雨による浸水被害が頻発するなか、迅速な災害対応や地域への情報発信を行うため、堤防における越水や決壊などの状況や、周辺地域における浸水の状況を、速やかに把握することが求められています。
- 令和5年度 ワンコインセンサの実証実験を行うために、自治体・民間企業等を対象として、実証実験への参加者を公募中。

## 浸水被害の把握

### 【既存の技術】

#### ヘリによる調査

- ・悪天候時に調査不可
- ・夜間調査不可

リアルタイム性



#### 痕跡調査

- ・広範囲の調査不可
- ・多数の人材確保
- ・専門技術者が必要

機動力



## ワンコインセンサ

### 【技術開発】

#### センサの特徴

- ・小型、長寿命かつ低コストで、流域内に多数設置が可能な浸水センサ



※河川砂防技術研究開発公募で開発したセンサ

- ・小型化
- ・低コスト
- ・長寿命

#### 官民連携による浸水域把握イメージ



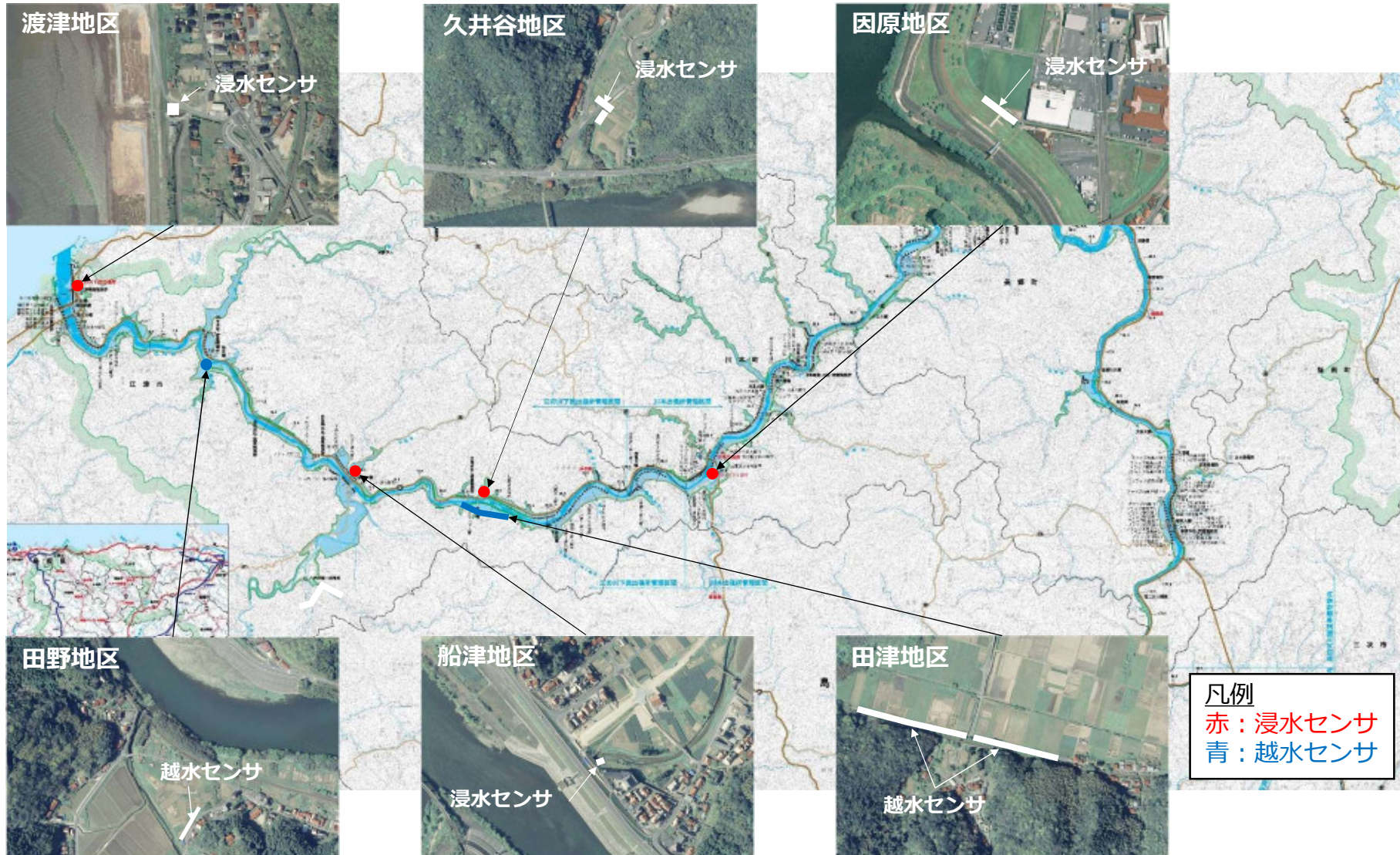
#### 【表示イメージ】



# 江の川（下流）における浸水センサ・越水センサ設置箇所

浜田河川国道事務所

○浜田河川国道事務所では、江の川（下流）において出水時に浸水被害が生じる可能性がある6地区を対象に、浸水センサ・越水センサを設置。

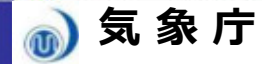


# 松江地方气象台

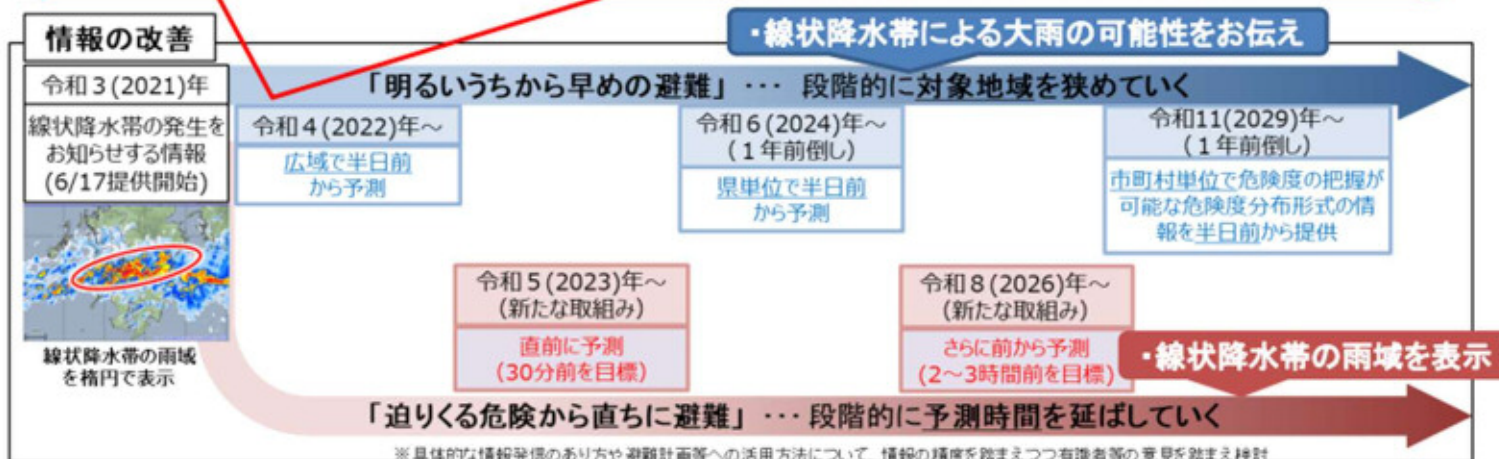
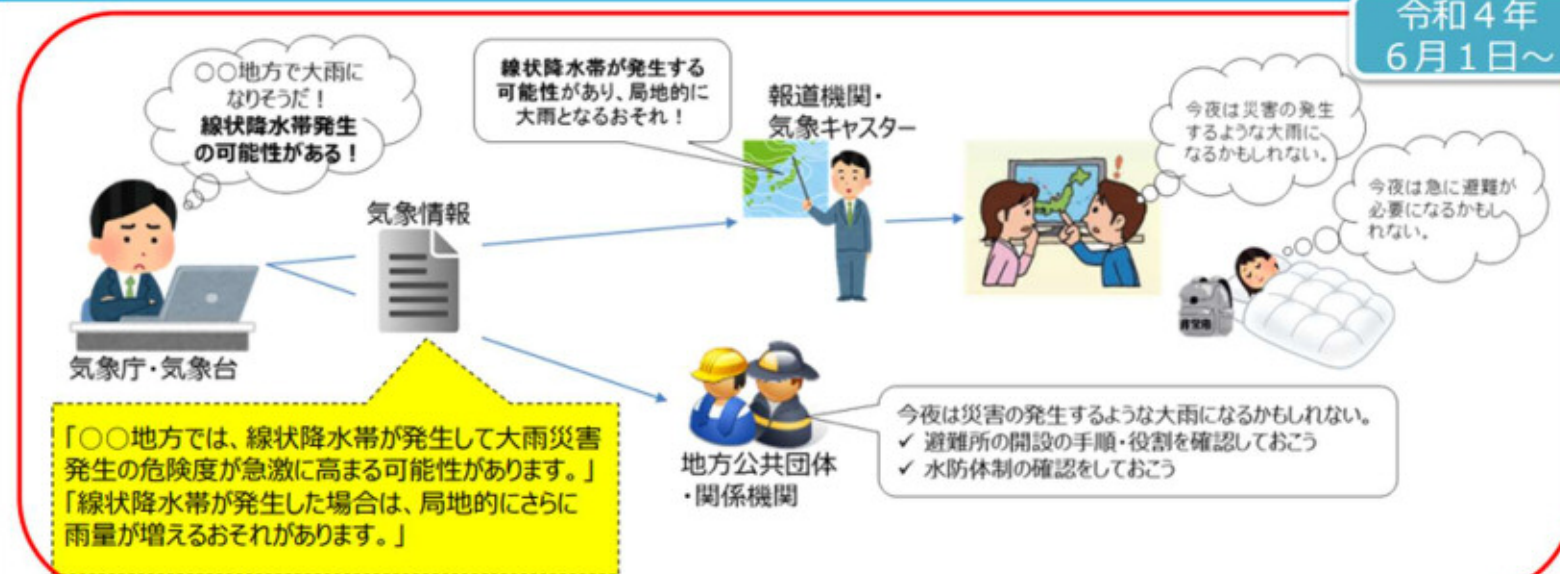
## 避難行動等に資する情報提供設備の整備及び水位予測の精度向上

○防災気象情報の改善（令和4年度実施）

### 「線状降水帯」による大雨の可能性を半日前からお伝えします



令和4年  
6月1日～





## 避難行動等に資する情報提供設備の整備及び水位予測の精度向上

○防災気象情報の改善（令和4年度実施）

### 大雨特別警報（浸水害）の指標の改善

令和4年  
6月30日～



**<改善のポイント> 警戒レベル5相当の状況に一層適合させるよう、災害発生との結びつきが強い「指数」を用いて大雨特別警報（浸水害）の新たな基準値を設定。**

#### <改善前の課題>

大雨特別警報（浸水害）を発表したが多大な被害までは生じなかった事例が多くみられる（例：平成26年8月の三重県の大雨事例、平成26年9月の北海道の大雨事例、平成29年7月の島根県の大雨事例）。

また、多大な被害が発生したにも関わらず、大雨特別警報（浸水害）の発表に至らなかった事例もみられる。

特別警報の 指標に用いる 基準値	<b>大規模な浸水害を高い確度で適中させるよう指標、基準値を設定</b>	
	中小河川氾濫に起因する大規模な浸水害を適中させるように <b>流域雨量指数</b> の指標、基準値を設定	内水氾濫に起因する大規模な浸水害を適中させるように <b>表面雨量指数</b> の指標、基準値を設定

洪水キキクル「災害切迫」(黒)の判定に用いる。

浸水キキクル「災害切迫」(黒)の判定に用いる。

- ✓ 大雨特別警報（浸水害）の対象地域を大幅に絞り込んだ発表が見込まれる。
- ✓ 島しょ部など狭い地域への発表も可能となる。
- ✓ 警戒レベル5相当の情報としての信頼度を高め、住民や自治体等の防災対応を強力に支援。

#### （参考）改善前の大雨特別警報（浸水害）の発表条件

以下の①又は②を満たすと予想され、かつ、さらに雨が降り続くと予想される地域の中で、洪水キキクル又は浸水キキクルで5段階のうち最大の危険度が出現している市町村等に発表。

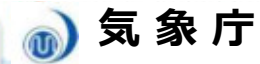
- ① 長時間指標 48時間降水量及び土壌雨量指数において、50年に一度の値以上となった5km 格子が、ともに50格子以上まとまって出現。
- ② 短時間指標 3時間降水量及び土壌雨量指数において、50年に一度の値以上となった5km 格子が、ともに10格子以上まとまって出現。

避難行動等に資する情報提供設備の整備及び水位予測の精度向上

○防災気象情報の改善（令和4年度実施）

## キキクル「黒」の新設と「うす紫」と「濃い紫」の統合

令和4年  
6月30日～



警戒レベル4に相当するキキクル（危険度分布）は**紫**です

キキクルの色	警戒レベル	特別警報基準値 超過を「黒」で表示	これまでのキキクル	
<b>黒</b> 災害切迫	<b>5相当</b>	警戒レベル4 の「紫」と一致	これまでの キキクルの色	
<b>紫</b> 危険	<b>4相当</b>		<b>濃い紫</b>	警戒レベル
<b>赤</b> 警戒	<b>3相当</b>		<b>うす紫</b>	-
<b>黄色</b> 注意	<b>2相当</b>		<b>赤</b>	4相当
<b>白(水色)</b> 今後の情報等に留意	-		<b>黄色</b>	3相当
			<b>白(水色)</b>	2相当
				-

質問1) キキクル「黒」が表示されていない場合は災害は発生しないの？  
 ⇒そうではありません。「黒」は、大雨による災害がすでに発生している可能性が高い状況であり、災害が発生する前にも出現するとは限りません。このため、「黒」を待つことなく、「紫」が出現した段階で、速やかに安全な場所に避難することが極めて重要です。

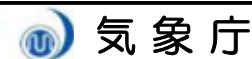
質問2) 市町村から発令される避難情報とどう違うの？  
 ⇒市町村から避難情報が発令された際には速やかに避難行動をとってください。一方で、多くの場合、防災気象情報は自治体が発令する避難指示等よりも先に発表されます。このため、危険な場所からの避難が必要とされる警戒レベル4に相当する紫や高齢者等の避難が必要とされる警戒レベル3に相当する赤色が出現した際には、避難指示等が発令されていなくても、自主的に避難の判断をすることが重要です。

避難行動等に資する情報提供設備の整備及び水位予測の精度向上

○防災気象情報の改善(令和4年度実施)

洪水に関する危険度情報の一体的発信

令和5年  
2月16日～

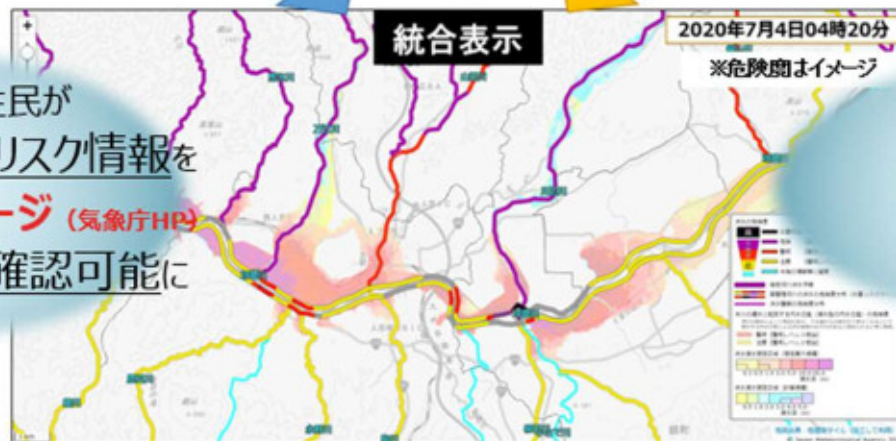


「国管理河川の洪水の危険度分布※」  
(水害リスクライン)

※ 大河川のきめ細かな越水・溢水の危険度を伝える

「洪水警報の危険度分布※」  
(洪水キキクル)

※ 中小河川の洪水危険度を伝える



自治体・住民が  
それぞれの詳細なリスク情報を  
**洪水キキクルページ** (気象庁HP)  
でワンストップで確認可能に

令和5年  
2月16日  
運用開始

## 避難行動等に資する情報提供設備の整備及び水位予測の精度向上

○防災気象情報の改善（令和4年度実施）

### 指定河川洪水予報の氾濫危険情報を予測でも発表

令和4年  
6月13日～



**改善前**

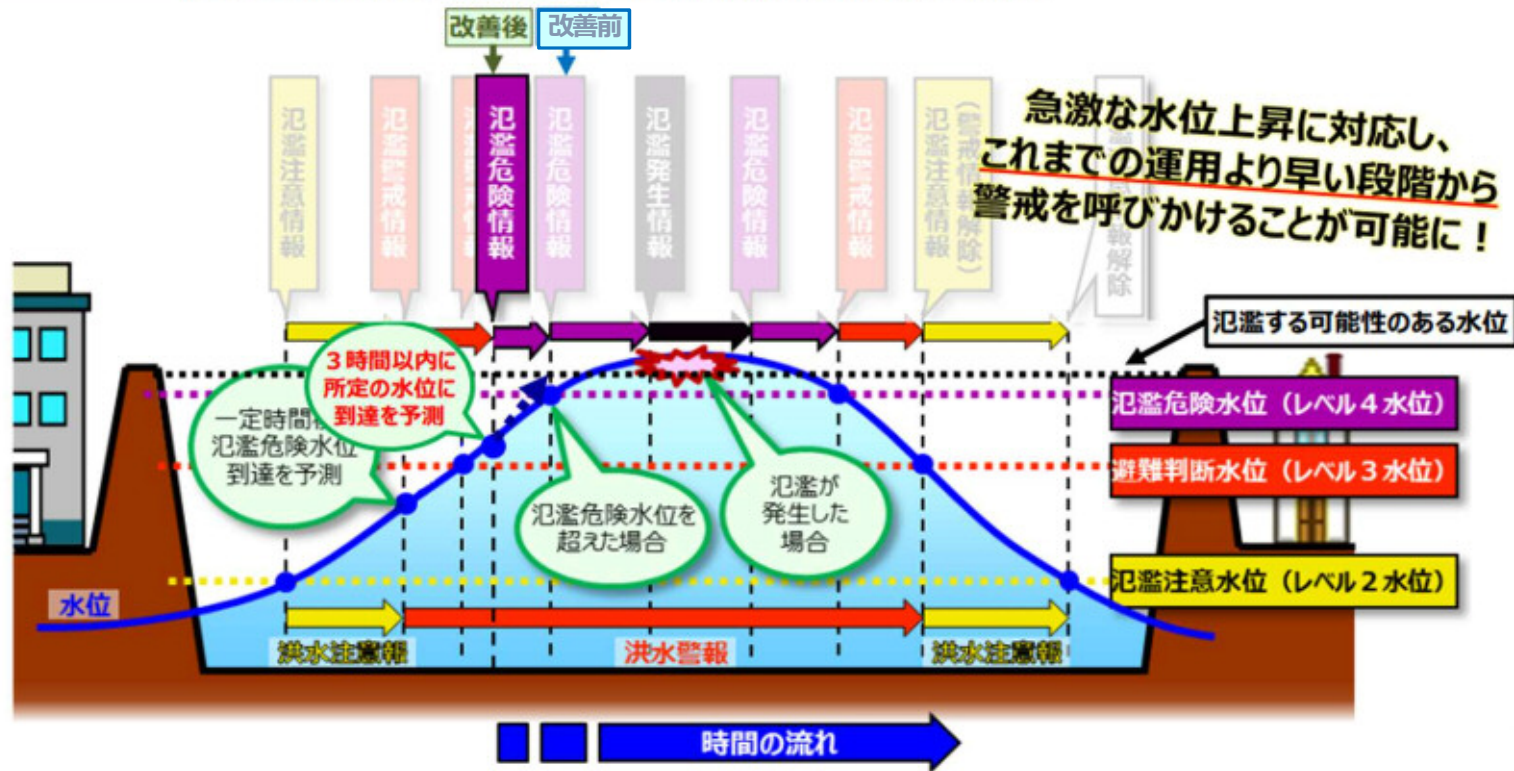
実況水位が氾濫危険水位に到達した場合に、氾濫危険情報を発表。

※ 氾濫危険情報：警戒レベル4相当、避難指示の目安

従来の運用に加えて

**改善後**

水位が急激に上昇し、3時間以内に、氾濫する可能性のある水位に到達する見通しとなった場合は、予測に基づいて氾濫危険情報を発表。



## 避難行動等に資する情報提供設備の整備及び水位予測の精度向上

○防災気象情報の改善（令和4年度実施）

令和4年  
9月8日～

### 高潮の早期注意情報（警報級の可能性）を毎日発表



- ▶ 台風が存在する場合にのみ発表していた高潮の警報級の可能性を、早期注意情報（警報級の可能性）として毎日発表（気象庁ホームページの「警報・注意報」に各地の高潮の早期注意情報を掲載）。
- ▶ 早期注意情報において高潮に関する警報級の可能性[高]または[中]が予想されている場合、高潮災害への心構えを高める必要があるとされる警戒レベル1に位置付けられます。

#### 気象庁ホームページでの高潮の早期注意情報の掲載イメージ

✓ 台風が存在するかどうかにかかわらず、毎日、高潮の早期注意情報（警報級の可能性）を発表。

東京都の早期注意情報（警報級の可能性）		○年●月12日11時 気象庁 発表														
東京都地方		12日					13日					14日	15日	16日	17日	
		12-18	18-24	00-06	06-12	12-24										
大雨	警報級の可能性	-	-	-	-	-	[中]	[高]	-	-	-	-	-	-	-	-
	1時間最大	15以下	15以下	15以下	15以下	15以下										
	3時間最大	25以下	25以下	25以下	25以下	25以下										
	24時間最大				50以下											
大雪	警報級の可能性	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	6時間最大	0	0	0	0	0										
	24時間最大				0											
暴風(雪)	警報級の可能性	-	-	-	-	-	[中]	[高]	-	-	-	-	-	-	-	-
	最大風速	陸上 9以下	9以下	9以下	9以下	9以下										
波浪	警報級の可能性	-	-	-	-	-	[中]	[高]	-	-	-	-	-	-	-	-
	波高	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5										
高潮	警報級の可能性	-	-	-	-	-	[中]	[高]	-	-	-	-	-	-	-	-

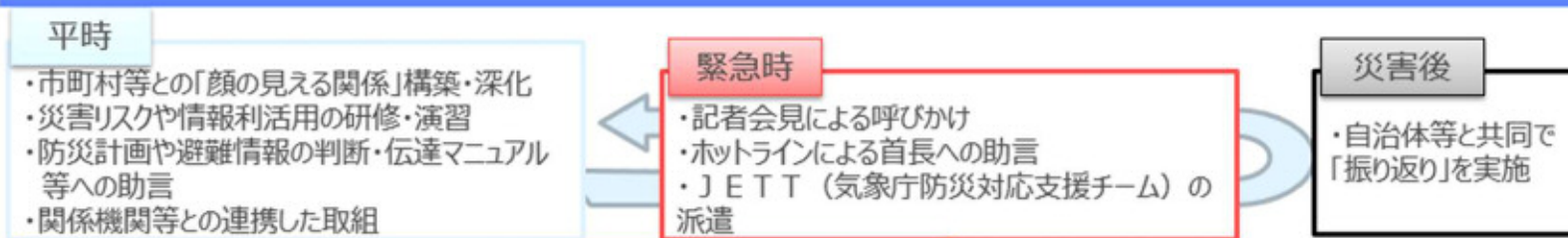
大雨、大雪など他の要素に加える形で提供開始

#### 警戒レベルとの位置づけ

警戒レベル	住民が取るべき行動	気象庁等の情報
5	命の危険 直ちに安全確保！ ・すでに安全な避難ができず、命が危険な状況。いまいる場所よりも安全な場所へ直ちに移動等する。	高潮氾濫発生情報
4	危険な場所から全員避難 ・過去の重大な災害の発生時に匹敵する状況。この段階までに避難を完了する。 ・台風などにより暴風が予想される場合は、暴風が吹き始める前に避難を完了しておく。	高潮特別警報 高潮警報
3	危険な場所から高齢者等は避難 ・高齢者等以外の人にも必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、自主的に避難する。	高潮警報に切り替える可能性が高い 高潮注意報
2	自らの避難行動を確認 ・ハザードマップ等により、自宅等の災害リスクを再確認するとともに、避難情報の把握手段を再確認するなど。	高潮注意報
1	災害への心構えを高める 新たに位置づけ	早期注意情報（警報級の可能性）

「川の防災情報」や地上デジタル放送のデータ放送、水害リスクラインの活用促進のための周知や二次元コード、SNSの有効活用

地域防災支援の強化—あなたの町の予報官（担当チーム）の取組



「あなたの町の予報官」による地域防災支援業務を強化

島根県を複数の市町村からなる3つの地域に分け、地域毎の災害特性を踏まえた地域専任の担当チーム「あなたの町の予報官」を編成。担当チームの常設により、各市町村固有の課題への対応を含め市町村に寄り添い、担当者同士の緊密な連携関係を構築し、さらに深化させていきます。

【松江地方気象台の担当チーム編成】

松江・出雲・雲南  
チーム



隠岐・県央  
チーム



浜田・益田  
チーム



気象防災ワークショップの推進



【Web会議で隠岐合同のワークショップ開催】

県内自治体防災担当職員を対象に、気象情報の利用方法などをより理解していただき、防災対応能力の向上を目的として、土砂災害編、水害対策編の気象防災ワークショップをWeb会議ツールを用いて実施しました。令和3年度までに18市町村で実施。令和4年度は出水期前に実施しました。

積極的にJ E T Tを派遣



【島根県災害対策本部会議へ派遣】

令和3年は、7月に梅雨前線、8月には台風第9号と停滞前線により、県内各地で大雨となり、甚大な災害が発生しました。このため、島根県災害対策本部会議に職員を派遣、常駐して、気象解説を実施しました。令和3年度の派遣は17事例。

「振り返り」の業務改善への活用



・災害時等の対応を振り返り、平時・緊急時の業務へフィードバック

令和3年は、梅雨前線や台風等により、県内各地で大雨となり、甚大な災害が発生しました。このため、県内全市町村担当者と共同で、振り返りを実施し、避難状況や活動を把握するとともに気象台への提案やニーズについて意見交換を実施しました。

※あな町TV = 気象台による防災気象情報の解説 (Web)

「川の防災情報」や地上デジタル放送のデータ放送、水害リスクラインの活用促進のための周知や  
二次元コード、SNSの有効活用

## 市町村防災担当者向け「気象防災ワークショップ」を開催



【場題1】

【検討】 30日 5:19

残り時間 10 5 3

入手した「防災気象情報」等の内容を確認し、次の点について検討してください。

- ① すぐに「警戒レベル3、高齢者等避難」を発令する必要があるか。
  - 検討結果を町長に説明することを想定して、理由も整理しておいてください。
- ② 今後どのような情報に特に注意するか？

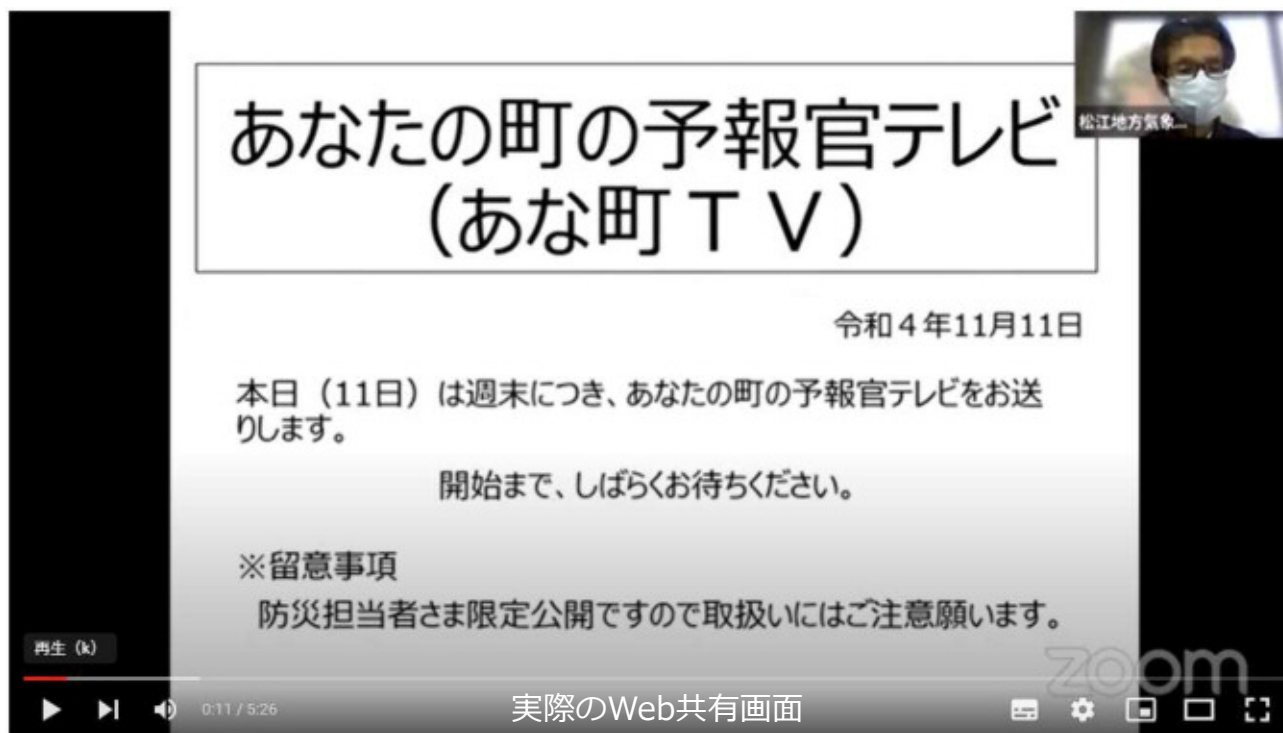
検討結果を、ワークシートに記入してください。  
(検討時間10分)

「zoom」による実際のWeb共有画面

- ・ 土砂災害・洪水災害が発生するおそれがある状況を想定し、気象台等から発表される様々な情報を参照しながら、グループワークを実施。
- ・ 各種防災気象情報への理解・有効活用とともに、体制強化や避難情報発令のタイミングなどに関する検討を行い、判断のポイントを学んでいただくことによって地域防災対応力の向上を支援。

「川の防災情報」や地上デジタル放送のデータ放送、水害リスクラインの活用促進のための周知や二次元コード、SNSの有効活用

## あなたの町の予報官TV



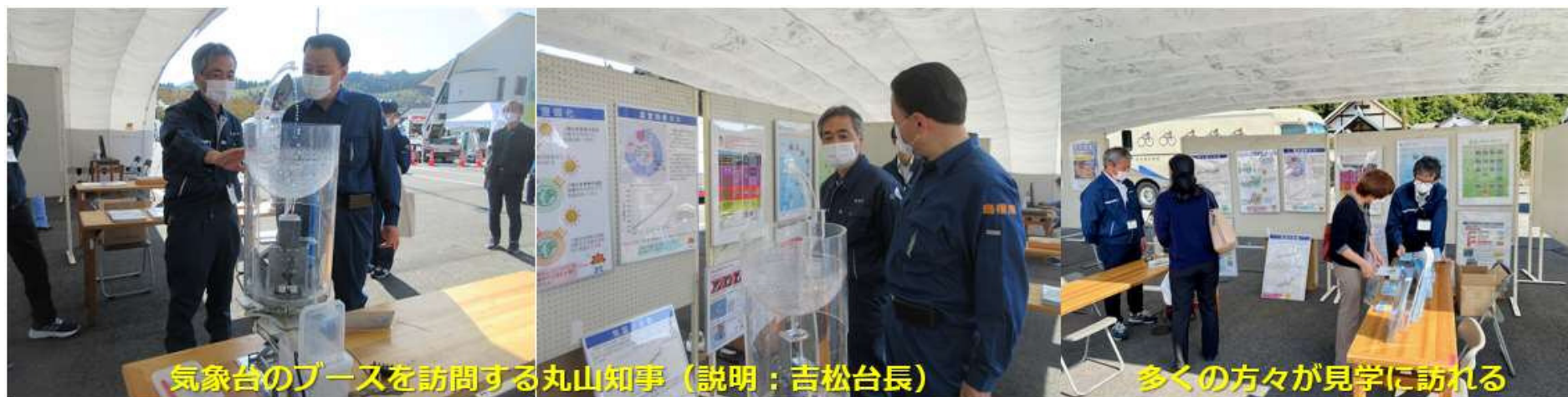
市町村防災担当者向けに、「あなたの町の予報官TV」と題した情報提供コンテンツを、毎週金曜日夜方に「youtube」にて配信。週末にかけて、県内の気象に関する留意点等を動画にて平易に解説（異常気象が見込まれる際は、随時配信）。

併せて平日は、毎日16時に「**防災メール**」を配信し、きめ細かく防災対応を支援。



住民の水防災意識の向上に資するイメージ動画等のツールを活用した、より実践的な防災教育の実施、ダムや堤防施設の機能等に関する定期的な住民への説明会や情報提供、避難訓練への参加促進を実施

## 「島根県総合防災訓練」において 展示ブースを開設



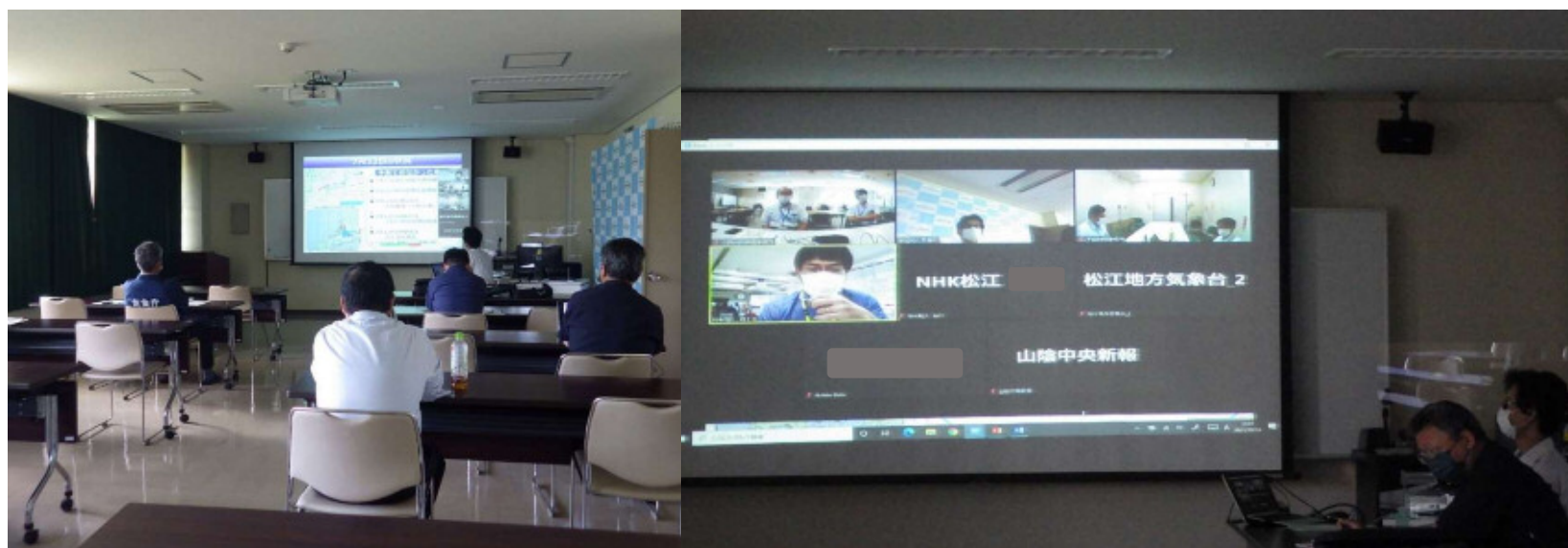
10月16日に隠岐の島町で開催された「島根県総合防災訓練」に参加  
広く一般住民に向け**防災に関する展示・解説**を実施

- ・雨量計のカットモデルを展示し、構造・観測原理等を説明。
- ・気象庁が発表する様々な防災気象情報について、説明パネルを掲示。  
パンフレットを配布し、防災知識の普及・啓発を行い、住民の防災意識向上に寄与。

報道機関との懇談会をwebにて開催

## 報道機関との懇談会を定期的に開催

- Web会議ツール「Zoom」を利用した「報道機関との懇談会」を鳥取地方気象台及び島根・鳥取両県内の河川・国道事務所と共同開催
- 水害をはじめとする防災知識の普及・啓発・周知について連携を強化
- Web開催により 放送局・新聞社等広域かつ多数の機関を同時に結んだ効果的・効率的な連携を実現
- 雪害等もテーマに、出水期に限らず通年で開催



### 【開催実績と気象台からの話題提供】

- 第4回 令和4年 5月31日「令和4年度 防災気象情報の改善について」「山陰の気象特性（出水期）と季節予報」
- 第5回 令和4年12月 9日「気象庁HPの見方について」「山陰の冬の天気と今冬の予想について」

# 島根県

## ○防災情報の周知徹底

### ◆チラシ



### ◆考える県政 令和4年5月28日、6月11日



出典：令和4年5月28日 山陰中央新報「考える県政」

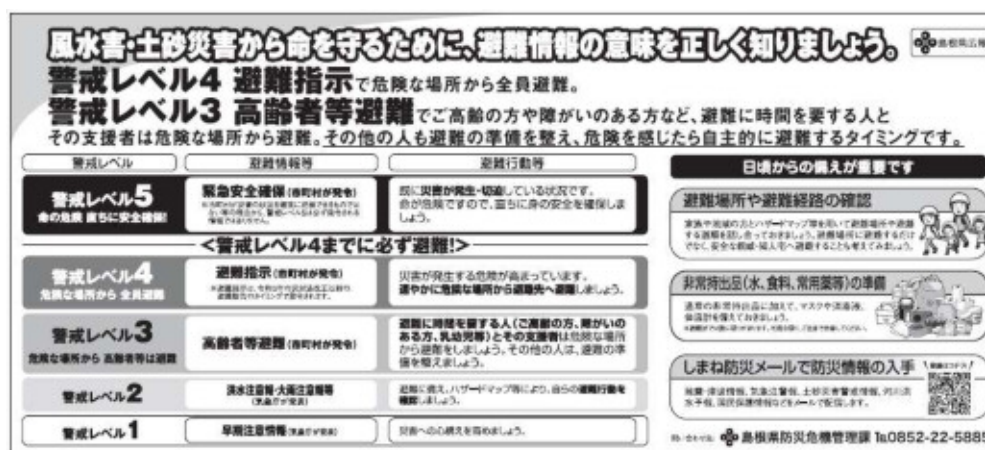
### ◆防災に関する展示

令和4年8月29日～9月2日 島根県庁1階ロビー



### ◆ラジオ (エフエム山陰)

令和4年5月27日



出典：令和4年6月11日 山陰中央新報「考える県政」

## ○地域防災力向上のための人材育成

### 【令和4年度 避難行動要支援者・個別避難計画実務研修】

1. 日時 令和4年9月1日(木)・2日(金)
2. 場所 松江テルサ・浜田ワシントンホテルプラザ
3. 受講者 市町村職員、社会福祉協議会、自主防災組織、民生委員等 約110名
4. 内容 講義「個別避難計画の作成と活用に向けた取り組み」  
県内市町村による事例紹介、意見交換会(グループワーク)
5. 講師 一般社団法人兵庫県社会福祉士会 西野事務局長 他



### 【令和4年度 島根県自主防災組織リーダー研修】

1. 日時 令和4年11月12日(土)～13日(日)
2. 場所 島根県浜田合同庁舎
3. 対象 自主防災組織構成員、自治会関係者 48名
4. 内容 災害史、防災気象情報の利活用(松江地方気象台)  
ワークショップ、まちあるき・災害図上訓練 他
5. 講師 静岡大学防災総合センター 牛山教授、山口大学大学院 瀧本准教授 他



### 【令和4年度 島根県防災士養成研修】

1. 日時 令和4年5月14日(土)～15日(日)
2. 場所 いわみーる(浜田市)
3. 受講者 54名
4. 内容 防災に関する各種講義、救急救命講習、防災士資格取得試験
5. 講師 NPO法人日本防災士会 宮永理事 他



# 江津市

## ■小中学校などと連携した江の川（下流）水系の洪水の特徴を踏まえた水害（防災）教育の普及・充実 【防災出前講座】

- 市内小中学校で防災講座を実施した。
- 市役所の防災担当の仕事や災害事例の紹介、備蓄物資の確認などを行った。
- 浸水想定区域等を確認し、避難場所等を確認した。

浸水想定区域や避難場所の確認



備蓄倉庫の確認



避難所運営体験



### ■小中学校での防災出前講座

- 5月18日 江東中学校
- 5月27日 清和養護学校  
(7月、11月にも実施)
- 6月14日 桜江中学校
- 6月29日 江津中学校
- 9月29日 高角小学校
- 10月25日 郷田小学校
- 11月10日 青陵中学校

### ■参加者の感想

- ・江津市の災害の特徴が理解できた。
- ・備蓄倉庫の中に何が入っているか知ることができた。災害に備えられているという事が良く分かった。
- ・段ボールベッドやパーティションを組み立てたことが勉強になった。今後、有事の際に設置の協力をしたい。
- ・自分の家が浸水想定区域や土砂災害警戒区域にあることが分かった。



### ■今後に向けて

市役所の防災担当の仕事や災害の事例を紹介する事で、防災意識の醸成につながり、自助・共助・公助について理解してもらえたと感じた。来年度以降も、防災マップなどを元に災害を自分事として考えてもらえるような講座を計画したい。

## ■ 桜江地区全体の防災計画づくり促進（江津市小さな拠点づくりモデル地区推進事業）

【各地区での防災ワークショップの開催、防災安全講演会の受講：桜江地区】

- 防災アドバイザーに各地区を巡回してもらい、防災ワークショップを実施。各地区ごとの災害の特徴について話し合い、避難行動や避難所の開設・運営などについて検討。令和6年度に向けて地区防災計画の作成を目指す。
- 島根県防災部防災危機管理課主催の防災安全講演会「なぜ人は逃げ遅れるのか」を受講。受講後に協議。



<ワークショップの状況>



<ワークショップの状況>



<防災講演会の受講>

### ○地区防災計画作成に向けた 防災ワークショップ

- ・6月 活動調整会議
- ・7月 桜江5地区を防災アドバイザーが巡回。方向性を定める。
- ・11月 各地区で第1回ワークショップを実施。訓練も実施予定。

### ○防災安全講演会

- 実施日:令和4年10月15日(土)
- 参加者:約20名

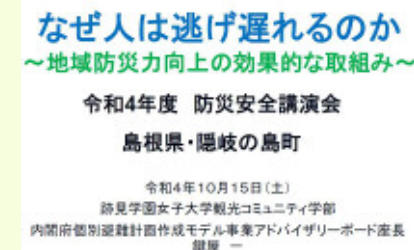
### ■ワークショップ資料



### ■各地区の状況整理



### ■防災講演会資料





# 川本町

## ■ 江の川の洪水を想定した避難訓練の実施

訓練実施地区：木路原・因原地区

- 6月5日（日）に江の川流域にある木路原、因原地区を対象に避難訓練を実施した。訓練には約130名の町民が参加し、避難のタイミング、避難先、避難経路などの確認をした。
- また、各自治会長との連絡体制を確認することを目的に情報伝達訓練も併せて実施した。
- 自主防災組織が主体として訓練を実施し、防災意識の向上につながった。
- 参加者が避難所への避難完了後、避難所運営の研修会を開催し、防災知識の普及啓発を図った。



### ■ 成果

- 役場対策本部と自治会との情報伝達方法の確認ができた。
- 災害対策本部における避難情報発令時のマニュアルを確認した。
- 自主防災組織としての防災意識の向上・防災知識の普及、啓発が図れた



### ■ 参加者の感想

- 自治会内の避難情報発令時の連絡体制を確認することができて良かった。
- 避難場所及び避難経路を確認できた。

# 美郷町

## ■ 防災教育や防災知識の普及

### 【気象情報を防災に活用する水防団を対象とした研修会の開催】

①近年の線状降水帯などを原因とする集中豪雨による河川の氾濫警戒に活用できるよう、キキクルなどの防災気象情報の読み取り方などを学ぶ。

日 時：令和4年10月2日  
10：00～12：00

場 所：美郷町粕渕（みさと館 町民ホール）

内 容：松江地方気象台の講演  
「防災気象情報の利活用について（災害から身を守るために）」  
講師 川田 保

参加者：町水防団（消防団員）31名  
郡内他水防団 51名

### 【講演会の様子】



# 邑南町

## ■ 防災教育や防災知識の普及

### 【防災出前講座の実施】

- 高原公民館で高原小学校区の児童を対象に防災出前講座を実施した。
- 避難所の備蓄品の確認・非常食（防災ごはん）の調理を行った。

- 実施日及び時間:  
令和4年8月12日（金）
- 参加者:児童20名、その他3名
- 当日の講習会内容
  1. 避難所の備蓄品について
  2. 非常用持ち出し品について
  3. 防災ごはん体験

- 参加者のコメント
  - ・避難所の様子がよく分かった。
  - ・家で非常用持ち出し品を確認してみる。
  - ・防災ごはんが簡単に作れた。
  - ・防災ごはんもおいしかった。



＜児童を対象にした防災出前講座＞

## ■ 避難訓練の実施

### 【訓練実施地区：布施地区】

- 邑南町布施地区において、住民の方も参加しての避難訓練を実施。
- 避難所の備蓄品の確認・避難所における感染症対策用品などの組み立てを行った。

- 実施日及び時間:  
令和4年8月27日（土）
- 参加者:55名
- 当日の訓練内容
  1. 避難訓練
  2. 避難所用品の組み立て
  3. 避難所体験

- 参加者のコメント
  - ・避難所の様子がよく分かった。
  - ・組み立てが難しく、今回体験できて良かった。
  - ・実際に避難してきてもベッドなどがあると安心して過ごせると思う。



＜避難所における感染症対策用品を組み立てる様子＞

## (2) その他

# 江の川（下流）大規模氾濫時の減災対策協議会 今後のスケジュール

令和4年5月25日（水）  
令和4年度 第1回 幹事会

令和4年度の実行予定、今後予定、連絡事項等

令和4年6月13日（火）  
令和4年度 第1回 協議会

令和4年度の実行予定 等について

江の川水系大規模氾濫時の減災対策協議会・県央圏域県管理河川に関する減災対策協議会・浜田県域県管理河川に関する減災対策協議会 合同開催

令和5年2月1日（水）  
令和4年度 第2回 幹事会

令和4年度の実行状況、今後予定、連絡事項等

令和5年3月  
令和4年度 第2回 協議会

令和4年度の実行状況、今後予定



令和5年5月  
令和5年度 第1回 幹事会

令和4年度の実行状況の報告及びフォローアップ  
令和5年度の実行予定

令和5年5～6月  
令和5年度 第1回 協議会

令和4年度の実行状況の報告及びフォローアップ  
令和5年度の実行予定